様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和5年3月13日

部局等名	消防本部	課かい名	消防総務課	推進責任者氏名	森田　学

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	各署所及び課内で出たトナーカートリッジ9本、ドラム1本を全て業者に回収を依頼し、リサイクルした。
	具体的内容	各署所のプリンターのトナーカートリッジなど、リサイクルの仕組みが確立している製品は廃棄せずに業者に回収を依頼し、リサイクルを徹底する。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	4箇所照明器具の修繕を行い、全てLED照明などの高効率ランプに更新した。
	具体的内容	照明器具を新たに修繕する場合は、LED照明など高効率ランプへの更新に努めます。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	紙の電子化や印刷方法を工夫することで、紙の削減ができた。
	具体的内容	紙の資料等はなるべく電子化、印刷は両面・集約印刷、裏面の利用を基本とするなど、紙の削減をします。	

【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

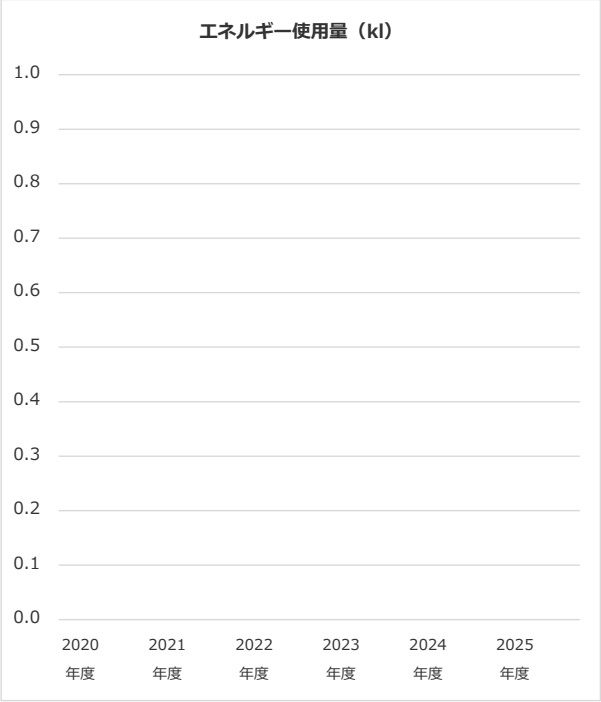
実績	前年度比　　%	達成状況	
達成/未達成の理由			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）						
エネルギー使用量（kl）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1		計画	
		実績	
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

様式1

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	６月３日に実施（対象者９名中８名参加） C-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課かいにおける取組目標及び具体的な取組を検討し設定した。 ※１名は産休により不参加のため、書面で対応した。
法令遵守確認研修	■ 実施	６月３日に実施（対象者９名中８名参加） 消防総務課では対象となる法令はないが、消防指導課及び警備課で該当している法令を施設管理課として把握するため、研修を実施した。 ※１名は産休により不参加のため、書面で対応した。
新任・異動者研修	■ 実施	６月３日に実施（対象者５名中４名参加）。 C-EMSの概要と課かいにおける取組目標及び具体的な取組を周知した。 ※１名は産休により不参加のため、書面で対応した。
	（選択してください）	

（3）指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
□ 関係する指定管理者・委託業者はない ■ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和5年3月13日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
目標達成に向けた取り組みについて、トナーカートリッジをリサイクルするなど積極的な廃棄物の削減や各消防施設の照明器具のLED化にも取り組むなど概ね達成できているといえる。 また、紙の資料の電子化や印刷時の両面・集約印刷、裏面の利用を基本とするなどペーパーレス化の意識が一人一人に着実に浸透している。	今後についても、職員一人一人が目標達成に向けた取り組みに意欲的に取り組んでもらうよう研修や周知を徹底する。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和5年3月6日

部局等名	消防本部	課かい名	予防課	推進責任者氏名	飯塚　真也

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	決裁後のファイルや、クリップ、ゴムバンド等の事務用品など再利用を行い廃棄物を削減した。
	具体的内容	ファイルや封筒等の事務用品は繰り返し使用する。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	室内の照度に合わせてモニターの明るさを調整したり、検査等で離席する場合にはパソコンの蓋を閉じ、長時間使用しない場合は電源切るなどにより、節電対策に努めた。また、長期休暇の際は、コンセントを抜き待機電力の発生を抑制した。
	具体的内容	離席時はパソコンのふたを閉じるとともに、パソコンを長時間使用しないときは電源を切る。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	火災の報告書は電子化し、課内で共有することで、個人が印刷する資料を削減した。今後の課題としては、各種届出、審査業務、台帳等の電子化を進めていく中で、データ容量やシステムの連携についてなど検討すべき項目がある。
	具体的内容	紙で提供する必要のない情報や資料等はなるべく電子化して共有するとともに、必要部数を精査し印刷は必要最低限にとどめる。	

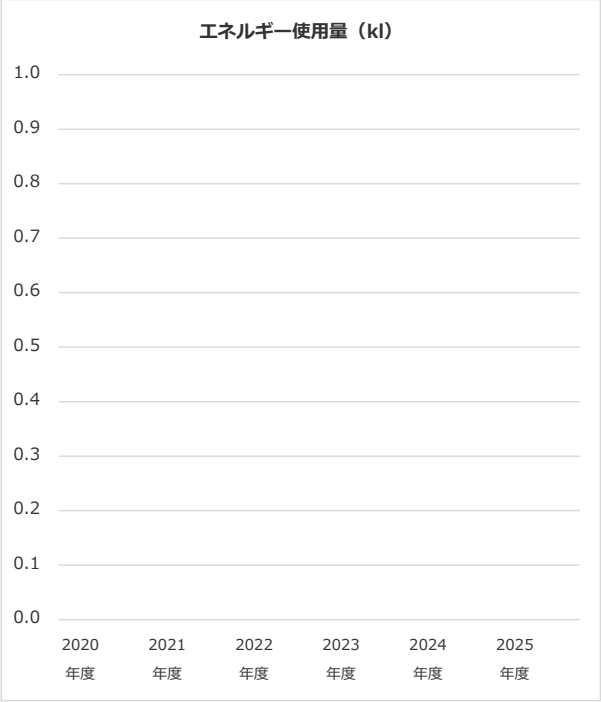
【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比　　%	達成状況	（選択してください）
達成/未達成の理由			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）						
エネルギー使用量（kl）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1		計画	
		実績	
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	

様式1

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	令和4年6月1日に実施された「C-EMSを通じた市役所温暖化対策研修」の重点取組目標に基づき課かいの取組目標及び計画検討し、「エコオフィス行動ルール」に沿った適切な取組目標を設定した。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	
新任・異動者研修	■ 実施	「C-EMSを通じた市役所温暖化対策研修」における研修内容ついて課内共有を行うことで、職員の環境配慮についての意識向上を行った。
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
■ 関係する指定管理者・委託業者はない □ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和5年3月6日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
課内で実施可能な取組目標を策定し、年間を通じて職員各自が計画に沿った行動を取ることができた。その結果、資源の再利用を意識したごみの分別や必要最低限の紙の印刷、電気機器の未使用時の節電対応により、省エネルギー活動を実行することができた。	今後も、今回掲げた目標は意識して行動することを続けるとともに、他部署の良好な取り組み事例等を参考とし、環境に配慮して業務を遂行していくことでエネルギー使用量削減に努めていく必要がある。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和5年3月9日

部局等名	消防本部	課かい名	警防救命課	推進責任者氏名	政近　年男

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	フラットファイルは、使用済みの物を裏返しにして再利用しています。また、クリヤファイルは消防本部内で共有し、物品数の削減や廃棄物を出さないよう心がけています。
	具体的内容	事務用品を消防本部全体で管理しているため、フラットファイルやクリヤファイルの再利用を図り、廃棄物の削減に繋げる。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	パソコンは、離席時には必ず蓋を閉め、長期休暇の時は電源を抜くことを徹底しています。また、残業はなるべく少なくし、ノー残業ディの徹底に努めています。
	具体的内容	パソコンを昼休み時間や離席時は蓋を閉め、長期休暇時は電源を抜く。ノー残業デイの徹底を図る。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	届いた郵便物の封筒は、庁内通知時に使用し、再利用に心がけています。また、印刷物は両面印刷や2分の1印刷に努めています。
	具体的内容	郵便物の封筒を庁内通知などの時に使用する。 片面印刷で使用できない紙を再利用する。	

【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

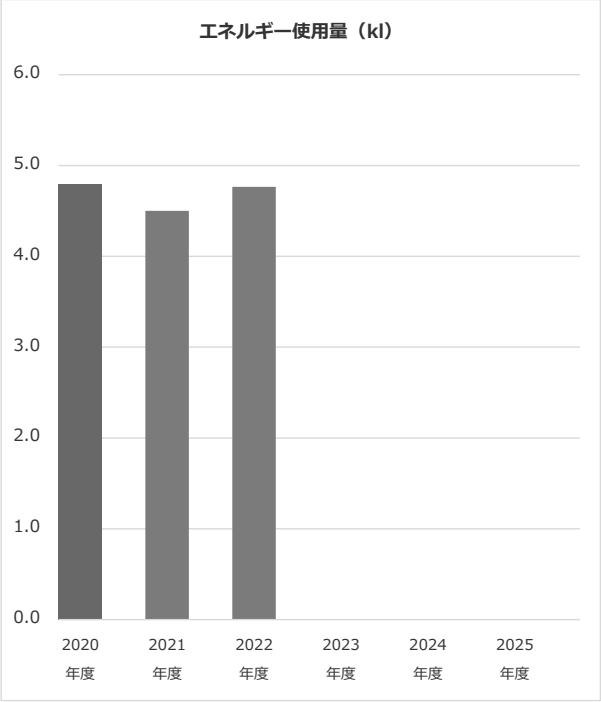
実績	前年度比　5.9% %	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	新型コロナウイルス感染症により自粛していた消防団活動も戻りずつあり、消防団員が拠点とする器具置場を使用することにより、エネルギー使用量が増加したもの。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	186.0	173.0	184.7			
エネルギー使用量（kl）	4.8	4.5	4.8	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	—	-6.3%	5.9%	-100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	消防団器具置場	計画	長期に使用しない電気プラグは、コンセントから抜くようにする。
		実績	使用していない電気器具の電気プラグは、コンセントから抜いています。
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

様式1

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	5月30日に実施（対象者11名全員参加）。Ｃ－ＥＭＳの概要と今年度の「重点確認項目」について確認、課における取組目標及び具体的な取組について周知した。
法令遵守確認研修	■ 実施	5月30日に実施。 対象となる法令について、特別管理産業廃棄物管理責任者から内容の周知をした。
新任・異動者研修	■ 実施	5月30日に実施（異動対象者5名全員参加）。 Ｃ－ＥＭＳの概要と課における取組目標について具体的な取組方法を周知した。
	（選択してください）	

（3）指定管理者･委託業者への協力要請

実施状況		
□ 関係する指定管理者・委託業者はない ■ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和5年3月9日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
職員の環境についての取組は、日常的に意識をもって取り組んでくれています。 目標については、廃棄物の削減、エネルギー使用量の削減、資源の有効利用となったいますが、どの目標も意識をもって取組でもらい達成しています。 また、ノー残業ディの徹底には職員が一丸となって努めてくれました。	新年度は、新たな職員が異動してきても、課内研修を通じて環境への意識付けを持たせ、日常業務に役に立たせるようにしていきたい。 また、今後もノー残業ディの徹底を図っていきます。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和 5年 3月 8日

部局等名	消防本部	課かい名	指令情報課	推進責任者氏名	竹永 寛

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	紙資源の削減のため、印刷物の裏面利用や会議資料を両面印刷することを徹底し、廃棄物の削減に努めました。
	具体的内容	資料の共有化や廃棄物の再利用化を図り、廃棄物が削減できるよう努めます。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	執務室の空調は取組目標を目安に設定することでエネルギー使用料の削減に努めました。また、夏季は、外部からの採光が十分あるため、来庁者の対応がない場合は、執務室を消灯し執務にあたりました。
	具体的内容	執務室において、エアコンの設定温度を夏季は28度、冬季は20度を目安に設定するとともに、消灯しても支障がない灯火類は消灯するよう努めます。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	定期的に、施設の見回りを行ない、蛇口の閉め忘れ等を確認するとともに、会議資料は供覧できるよう電子化し、要点や必要な部分のみ印刷し、配布するなど資源を有効に利用しました。
	具体的内容	施設内の節水に努めるほか、会議等で配布する資料等は、必要枚数をチェックし不要な資料の作成をしないようにするなど、資源の有効利用に努めます。	

【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比 %	達成状況	（選択してください）
達成/未達成の理由			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）						
エネルギー使用量（kl）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	執務室・指令管制室・仮眠室・食堂・更衣室	計画	業務に支障がない灯火類のこまめな消灯 空調設定温度の適正化
		実績	朝礼等で課員へ節電への声掛けするとともに、執務室の冷やし過ぎ、温めすぎることがないよう適宜確認しました。
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	

様式1

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月初旬に、対象職員20人に「「C-MES」を通じた市役所温暖化対策」を用いて、温室効果ガス削減に対する市の取り組みを再確認し、今年度における課の取組項目の設定を行った。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	
新任・異動者研修	■ 実施	新任者は該当なし。異動者にあっては、6月初旬に、C-MESおける市の取り組み事項及び課の取組項目について確認を行った。
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
■ 関係する指定管理者・委託業者はない □ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和 5年 3月 8日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
課員各個人が、環境問題に前向きに取り組んでおり、資源の有効活用や節電対策も課内においては対応できていると評価しています。 小さなことですが、環境への対応は毎日の積み重ねが重要と考えておりますので、引き続き、課内で共通認識をもって、エネルギー使用量の削減に取り組んでいきたいと思います。	エネルギー使用量の削減は、継続的な取り組みが重要となることから、研修等を通じて職員の意識を向上させ、継続的に取り組んでいくことも大切な取り組みと感じています。 今後の対応につきましては、環境対策について課員とのコミュニケーションの機会を増やし、効果的な取組ができるよう対応していこうと考えています。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和5年3月2日

部局等名	消防部	課かい名	消防指導課	推進責任者氏名	末武　哲浩

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	フラットファイルや封筒のリユースを積極的に図り、適切な在庫管理を行い、WEB会議やLoGoチャットを活用し、紙使用の削減に努めた。
	具体的内容	リユース可能な事務用品や消耗品類は丁寧に扱い、使用期間の長期化を図りながら廃棄物を減らし、適切な在庫管理を行いつつ、計画的に購入し、消耗品費の削減を図る。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	ホームページでの周知をメインに必要最低限の印刷数にとどめることができた。
	具体的内容	・例年印刷している救命講習会の年間予定表をホームページ上での公開を基本とし、紙の削減を図る。	
3	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	目標どおりに実施できた。今後も引き続き、エネルギー使用量の削減に努めていく。
	具体的内容	・室温の目安として、夏季の冷房時 25－28度、冬季の暖房時18－20℃と設定し、室温のムラを少なくするために扇風機を活用し電気の節約を図る。・昼休み、時間外は消灯し、電気の節約を図ると同時に時間外勤務の削減につなげる。	

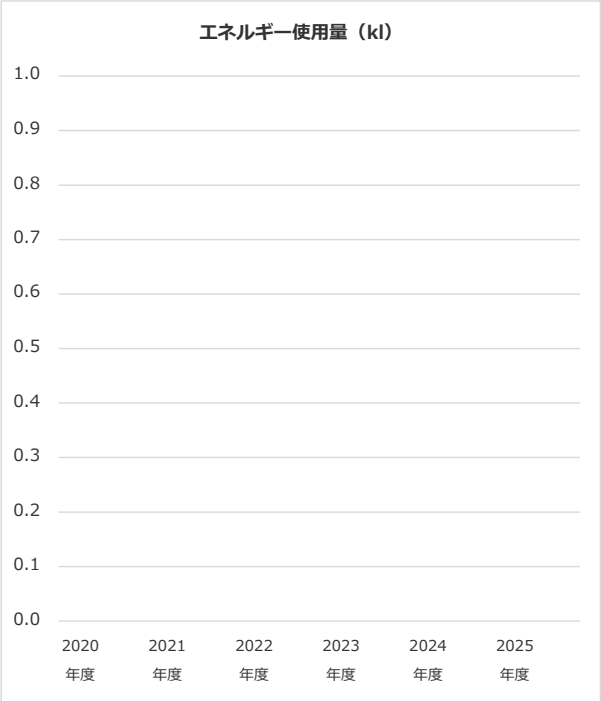
【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比　　%	達成状況	（選択してください）
達成/未達成の理由			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）						
エネルギー使用量（kl）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1		計画	
		実績	
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	

様式1

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	５月２３・２４日に実施（課員全員参加） 今までの「C-EMS」を通じた「市役所温暖化対策～地球温暖化対策実行計画」の概要と当年度の課における取組目標及び具体的な取組を周知した。
法令遵守確認研修	■ 未実施	６月に対象となる法令について、内容等を確認し周知した。
新任・異動者研修	■ 実施	５月２３・２４日に実施（対象者２名参加） 今までの「C-EMS」を通じた「市役所温暖化対策～地球温暖化対策実行計画」の概要を周知した。
	（選択してください）	

（3）指定管理者･委託業者への協力要請

実施状況		
■ 関係する指定管理者・委託業者はない □ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和5年3月2日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
取組目標については概ね達成できている。エネルギー使用量の削減の削減について、今年度に限らず、ここ数年の取り組みの成果から特に徹底されていたと考える。	1日の業務の始まりである朝の朝礼時に声掛けを実施するなどして職員への意識付けを徹底し、意識高揚に努めていく。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和5年3月6日

部局等名	消防部	課かい名	消防署本署	推進責任者氏名	大柳誠二

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	・事務用品や消耗品等は丁寧に扱い、使用期間の延長を図ることで廃棄物の削減に努めた。 ・ごみの分別を徹底するとともに、使い捨てであるペーパータオル、割り箸等は使用せず、ごみの削減に努めた。
	具体的内容	リユース可能な事務用品や消耗品類は丁寧に扱い、使用期間の長期化を図りながら廃棄物を減らし、適切な在庫管理を行う。また、ごみの分け方、出し方について職員に周知徹底し、ごみの削減を実施する。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	・使用していないパソコンや照明はこまめに電源を切り、エネルギー使用量の削減に努めた。 ・エアコンは短時間外出によるこまめな電源OFFよりも、適正な温度で使用できるよう考慮して使用し、不必要なエネルギーが発生しないよう努めた。また、窓の開放、採光の取り込み等で温度調整を実施し、必要以上にエアコンを使用しないよう努めた。
	具体的内容	使用していないパソコンや照明はこまめに電源を切るよう周知する。また、エアコンは短時間外出によるこまめな電源OFFよりも適正な温度として、夏季の冷房25-28℃、冬季の暖房時18-20℃の設定を心掛ける。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	・不必要な印刷物をできるかぎり減らし、電子上で情報共有を行った。 ・両面印刷や2アップ印刷などを使用して使用枚数の削減を図った。 ・個人情報に留意して裏紙をメモ用紙として再利用した。
	具体的内容	紙使用量の削減が職員に定着してきた中で、更に用紙類削減や再利用に係る取組を実施する。	

【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

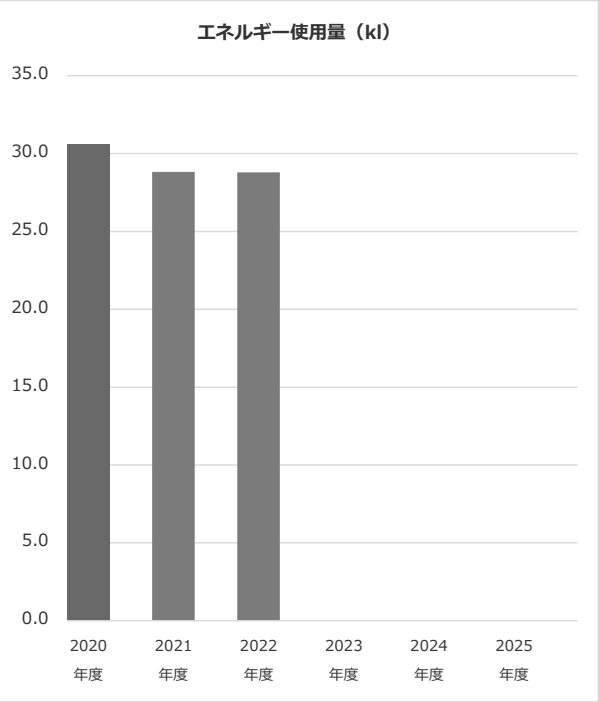
実績	前年度比 −0.1 %	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	職員各自が節電を意識し電力消費の削減に努めたが、コロナ感染防止対策のため換気をしながら空調設備を使用したこと、前年度より暑い日や寒い日が多かったことにより空調設備の使用量が増えたためと考えられる。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	1187.0	1117.0	1116.4			
エネルギー使用量（kl）	30.6	28.8	28.8	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	—	−5.9%	−0.1%	−100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	消防署本署	計画	空調フィルターの清掃を1回/月実施する。
		実績	空調フィルターの清掃を1回/月実施した。
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

様式1

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月18日、6月19日、6月20日、6月21日に実施。（課員全員参加） C-EMSの概要と当該年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課における取組目標及び具体的な取組を検討し設定した内容を周知した。
法令遵守確認研修	■ 実施	6月18日、6月19日、6月20日、6月21日に実施。（課員全員参加） 対象となる法令について、内容等を確認し周知した。
新任・異動者研修	■ 実施	1月14日、1月15日、1月16日、1月17日に実施。（対象者全員参加） C-EMSの概要と課かいにおける取組目標及び具体的な取組内容を周知した。
	（選択してください）	

（3）指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
■ 関係する指定管理者・委託業者はない □ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和5年3月6日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
揚げた3つの取組目標に対して、具体的な対策を講じて概ね達成できている。 C-EMSの活動により、環境活動の重要性について職員の意識の中に浸透し、定着してきており、カーボンニュートラル等環境問題を意識して行動している職員が増えてきた。 照明の消し忘れやパソコン電源の切り忘れを発見する場合もあり、直ちに職員へ注意を促し、環境活動の重要性を訴え続けている。	次年度も、職場研修や朝の申し送り等で、環境活動の重要性について周知徹底を図り、更なる理解を求め、環境活動に取組むよう努める。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和5年3月12日

部局等名	消防部	課かい名	寒川警備第一課、寒川警備第二課 （小出出張所）	推進責任者 氏名	池杉久一、本間正光

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	・コロナ禍の感染予防対策で、当初は洗った食器をキッチンペーパーなど用いて拭き取っていたが、個人用のふき取りタオルを活用することや、再生紙の裏紙をリユースなど行い、ゴミ削減を心掛けた。
	具体的内容	リユース可能な事務用品や消耗品類は丁寧に扱い、使用期間の長期化を図りながら廃棄物を減らし、適切な在庫管理を行う。また、ごみの分け方、出し方について職員に周知徹底し、ごみの削減を実施する。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	・コロナ禍の感染防止対策として、ロスナイ換気を活用し室内換気を行いながら室温を維持。事務所内の無人化する時間が30分超えの場合はエアコンを切り、エアコン始動時の電気使用量抑制に努めた。 ・日中の執務はブラインドで遮光調整し、事務所内に自然光を取り入れて照明使用の抑制ができた。 ・23時以降の照明使用を局所化して、施設内の節電に努めた。
	具体的内容	・室温の目安として、夏季の冷房時 25－28度、冬季の暖房時18－20℃と設定し、電気の節約を図る。 ・使用していない照明やパソコンの電源をこまめに切るよう職員へ周知する。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	・不必要な印刷物を削減するため、電子上で情報共有を行った。 ・印刷設定を工夫して、印刷枚数の削減を図った。
	具体的内容	・紙使用量の削減が職員に定着してきた中で、更に用紙類使用削減や再利用に係る取組を実施する。 ・紙で提供する必要のない情報や資料等は電子化して共有し、業務効率向上及び環境保全への貢献に努める。	

【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

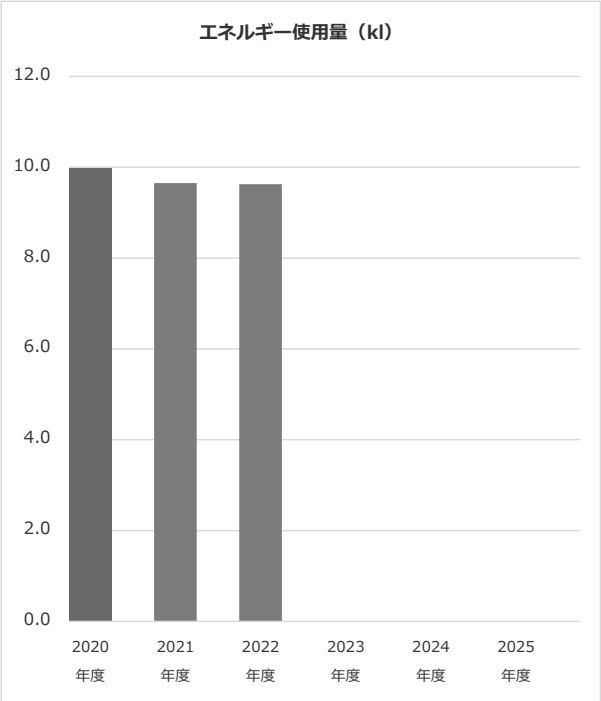
実績	前年度比 −0.2 %	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	一昨年に実行した節電対策と同様に、担当者だけでなく職員全員に環境及び節電対策を実行する意義を周知して無理のない範囲で今年度もエネルギー削減に努めていたが、微減の結果となったもの。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	387.0	374.0	373.1			
エネルギー使用量（kl）	10.0	9.6	9.6	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	—	−3.4%	−0.2%	−100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	小出出張所	計画	空調フィルターの清掃を1回/月実施する。
		実績	空調フィルターの清掃を1回/月実施した。
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

様式1

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	６月２０日までに実施（全員参加） C-EMSの概要と当該年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課かいにおける取組目標及び具体的な取組内容を周知した。
法令遵守確認研修	■ 実施	６月２０日までに実施（全員参加） 対象となる法令について、内容等を確認した。
新任・異動者研修	■ 実施	異動者については、C-EMSの概要における取組目標及び具体的な取組を10月7日までに周知した。 （対象者全員参加）「C-EMS」改定内容を周知した。
	（選択してください）	

(3)指定管理者･委託業者への協力要請

実施状況		
■ 関係する指定管理者・委託業者はない □ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和 5年 3月 12日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
コロナ過で制約のある中、担当者を中心に職員一丸となり、、省エネ･節電･エコ対策に配慮した行動を実践し 各取り組み目標について達成できたことは評価できます。	警備課は隔日勤務という24時間勤務体制であり、勤務体制に合った環境対策を引き続き検討し対応していきます。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日：令和5年3月5日

部局等名	消防本部	課かい名	小和田警備第一課、小和田警備第二課 （小和田分署）	推進責任者 氏名	権上辰弥、内田芳久

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	・事務用品は適切に使用し、使用期間を延長させ、必要最低数を使用し廃棄物の削減を図った。 ・ごみの分別を徹底するとともに、使い捨ての物（紙コップ、割り箸等）は使わないようにし、ごみの発生及び削減を図った。
	具体的内容	リユース可能な事務用品や消耗品類は丁寧に扱い、使用期間の長期化を図りながら廃棄物を減らし適切な管理を行う。また、ごみの分別を徹底し、ごみの削減を実施する。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	・衣類調整、採光取り込み及び窓の開放により温度調整を実施し、エアコン使用時は設定温度を遵守しエネルギー使用量の削減に努めた。 ・パソコンの電源をこまめに切り、短時間の離席でも画面を閉じるよう努めた。不必要な照明は切り、休憩時間等も積極的に節電に努めるとともに、採光を取り入れ、エネルギー使用量の削減を図った。
	具体的内容	・室温の目安として、夏季の冷房時 25－28度、冬季の暖房時18－20℃と設定し電気の節約を図る。・使用していない照明やパソコンの電源をこまめに切るよう職員へ周知する。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	不必要な印刷はなくし、電子上での情報共有を行った。印刷する必要がある場合は、ミスプリントがないように確認するとともに、1枚あたりのページ数を増やし両面印刷するなど、使用枚数の削減を図った。
	具体的内容	紙で提供する必要のない情報や資料等は電子化して共有し、業務効率向上及び環境保全への貢献に努める。	

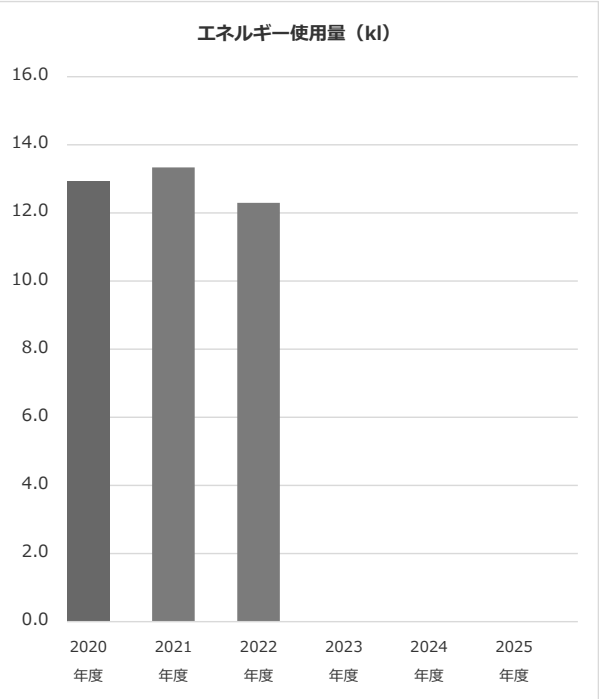
【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比 −7.8 %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	C-EMSの研修等を実施することにより、職員一人一人の省エネに対する意識が変わったため達成することができた。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	501.0	517.0	476.6			
エネルギー使用量（kl）	12.9	13.3	12.3	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	—	3.2%	−7.8%	−100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	小和田分署	計画	空調フィルターの清掃を1回/月実施する。
		実績	空調フィルターの清掃を1回/月実施した。
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	

様式1

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	６月１５日、１８日、１９日、２０日に実施（対象者２６名中２６名参加） C-EMSの概要と当該年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課かいにおける取組目標及び具体的な取組内容を周知した。
法令遵守確認研修	■ 実施	６月１５日、１８日、１９日、２０日に実施（対象者２６名中２６名参加） 対象となる法令について、内容等を確認した。
新任・異動者研修	■ 実施	１０月１９日、１月１３日、１４日に実施（対象者３名中３名参加） C-EMSの概要と課かいにおける取組目標及び具体的な取組内容を周知した。
	（選択してください）	

（3）指定管理者･委託業者への協力要請

実施状況		
■ 関係する指定管理者・委託業者はない □ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和　5年　3月　5日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
掲げた目標について、具体的な対策を講じて実施し、達成できている。コロナ感染症の影響により、一箇所に多人数集まることが好ましくないことから、分散生活することが求められ、エネルギー使用量の削減については、現状のままでは努力の限界があり新たな取り組み等の設定も考慮する必要がある。	職員への意識付けはC－EMSの活動により向上している。、今後は、より市民へ活動方針を広げることを目指す必要がある。職員自らが家族及び周囲に「持続可能な社会」の実現を目指すことへの取り組みを周知することで、職員及び市民の自発的な取り組み意識をより育てることが可能となり、C－EMSとの相乗効果を図れるのではと考えられるため、職員の更なる理解を求めるように取り組みを強化する。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和5年3月6日

部局等名	消防部	課かい名	消防署松林出張所	推進責任者氏名	内藤裕之、橋本淳

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	・丁寧に事務用品や消耗品等を扱い、使用期間の延長を図ることで廃棄物の削減に努めた。 ・、使い捨てであるペーパータオル、割り箸等は使用せず、ごみの分別を徹底してごみの削減に努めた。
	具体的内容	リユース可能な事務用品や消耗品類は丁寧に扱い、使用期間の長期化を図りながら廃棄物を減らし、適切な在庫管理を行う。また、ごみの分け方、出し方について職員に周知徹底し、ごみの削減を実施する。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	・照明や使用していないパソコンはこまめに電源を切り、エネルギー使用量の削減に努めた。 ・エアコンは適正な温度で使用し、不必要なエネルギーが発生しないよう努めた。また、窓の開放等で温度調整を実施し、必要以上にエアコンを使用しないよう努めた。 ・夏季は便座の電源を切り、節電に努めた。
	具体的内容	使用していないパソコンや照明はこまめに電源を切るよう周知する。また、エアコンは短時間外出によるこまめな電源OFFよりも適正な温度として、夏季の冷房25-28℃、冬季の暖房時18-20℃の設定を心掛ける。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	・不必要な印刷物をできるかぎり減らすため、電子上で情報共有を行った。 ・両面印刷などを使用して印刷枚数の削減を図った。 ・個人情報に留意して裏紙をメモ用紙として再利用した。
	具体的内容	紙使用量の削減が職員に定着してきた中で、更に用紙類削減や再利用に係る取組を実施する。	

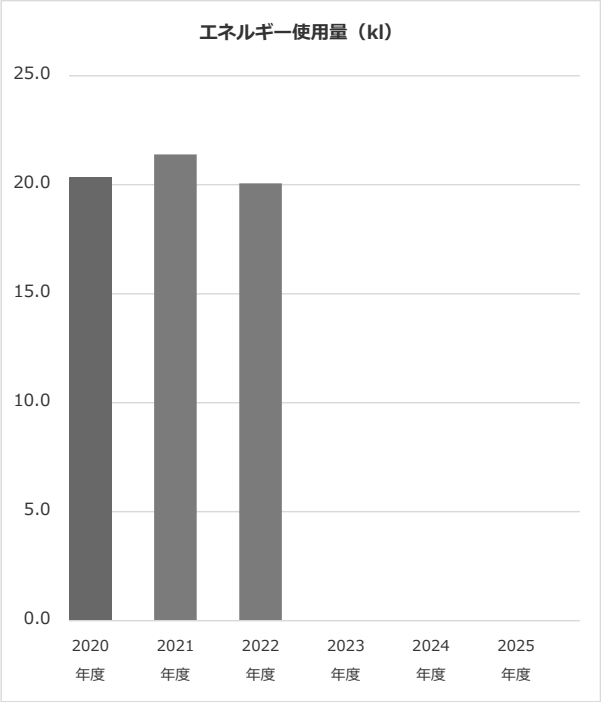
【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比 -6.2 %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	節電に努めたため。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	789.0	829.0	777.7			
エネルギー使用量（kl）	20.4	21.4	20.1	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	—	5.1%	-6.2%	-100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	消防署 松林出張所	計画	空調フィルターの清掃を1回/月実施する。
		実績	空調フィルターの清掃を1回/月実施した。
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	

様式1

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月18日、6月19日、6月20日、6月21日に実施。（全員参加） 「C-EMS」改定内容と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課における取組目標及び具体的な取組を検討し設定した内容を周知する。
法令遵守確認研修	■ 実施	6月18日、6月19日、6月20日、6月21日に実施。（全員参加） 対象となる法令について、内容等を確認し周知した。
新任・異動者研修	■ 該当なし	年度途中での新任・異動者はいないため。
	（選択してください）	

（3）指定管理者･委託業者への協力要請

実施状況		
■ 関係する指定管理者・委託業者はない □ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和5年3月6日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
取組目標に関しては職員一人一人が概ね実行できており、環境活動の重要性も理解できている。パソコンの消し忘れは散見されたので今後の課題である。	次年度も、職場研修等で環境活動の重要性について周知徹底を図り、更なる理解を求め、環境活動に取組むよう努める。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日：令和5年3月4日

部局等名	消防本部	課かい名	小和田警備第一課、小和田警備第二課 （海岸出張所）	推進責任者氏名	佐野　隆、梶山浩正

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	事務用品等について適正に取り扱い、消耗品類の使用については必要最小限の使用を心掛け、廃棄物の削減に努めた。 ごみの分別の意識付け及び分別を徹底し、削減を図った。
	具体的内容	リユース可能な事務用品や消耗品類は丁寧に扱い、使用期間の長期化を図りながら廃棄物を減らし適切な管理を行う。また、ごみの分別を徹底し、ごみの削減を実施する。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	季節に応じた設定温度を厳守し、窓の開閉及び着衣等での調整を図ることで使用量削減に努めた。 不必要な場所の照明の消灯や蛍光灯の間引き、離席時や休憩時間はパソコンの電源を切ることで使用量削減に努めた。
	具体的内容	・室温の目安として、夏季の冷房時 25－28度、冬季の暖房時18－20℃と設定し電気の節約を図る。 ・使用していない照明やパソコンの電源をこまめに切るよう職員へ周知する。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	必要のない紙の印刷を控え、印刷する際は画面上で間違え等ないか事前に確認するとともに、電子媒体による情報の共有化に努め、業務の効率化を図った。
	具体的内容	紙で提供する必要のない情報や資料等は電子化して共有し、業務効率向上及び環境保全への貢献に努める。	

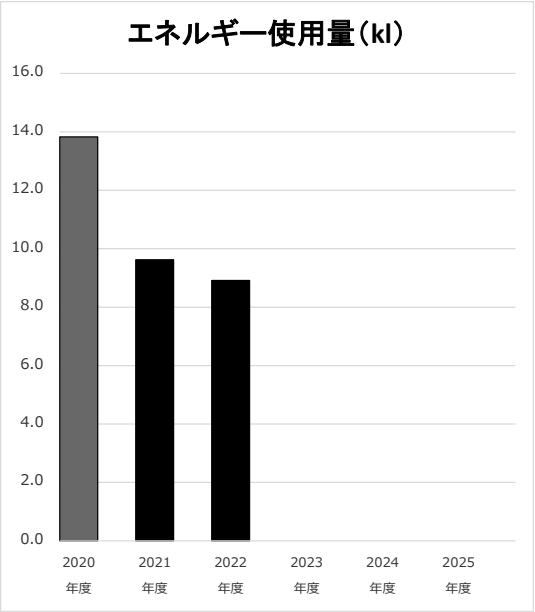
【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比　　−7.4 %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	C－EMSの取り組むECO規範が浸透した事により、職員一人一人に省エネの工夫及び省エネの意識が根付き、それぞれが省エネ行動を実践した事が目標達成に到達したと考えられる。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	536.0	373.0	345.4			
エネルギー使用量（kl）	13.8	9.6	8.9	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	—	−30.4%	−7.4%	−100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	海岸出張所	計画	空調フィルターの清掃を1回/月実施する。
		実績	空調フィルターの清掃を1回/月実施した。
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	６月１１日、１２日、１３日、１４日に実施（対象者２４人中２４人参加） C-EMSの概要と当該年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課かいにおける取組目標及び具体的な取組内容を周知する。
法令遵守確認研修	■ 実施	６月１１日、１２日、１３日、１４日に実施（対象者２４人中２４人参加） ６月中に実施予定 対象となる法令について、内容等を確認する。
新任・異動者研修	■ 実施	１０月１６日、１７日に実施（対象者２人中２人参加） C-EMSの概要と課かいにおける取組目標、具体的な取組内容及び対象となる法令についてを周知する。
	（選択してください）	

（3）指定管理者･委託業者への協力要請

実施状況		
■ 関係する指定管理者・委託業者はない □ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和　5年　3月　4日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
各種目標達成に向けた取り組みを年度を通じて実施し、概ね目標を達成できた。職員一人一人の意識もC－EMSの取り組みにより浸透してきたと感じられる。消防部においては災害対応を業務とするため、災害発生状況等によって目標達成できないものもあると思われるが、1年を通じて目標達成できるよう、さらに職員へ意識付けをしていく必要がある。	環境活動における職員の意識付けについては、職場だけ行えば良いというものではなく、家庭における取り組みも必要であるため、自発的な取り組みを普段から行えるような環境をさらに整備していく。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日：令和5年3月6日

部局等名	消防本部	課かい名	小和田警備第一課・小和田警備第二課 （鶴嶺出張所）	推進責任者氏名	岸　研二、佐々木雅彦

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	・使用方法を守り丁寧に扱い、使用期間の延長を図った。 ・ごみの分別を徹底するとともに、ごみの量の削減を図った。
	具体的内容	リユース可能な事務用品や消耗品類は丁寧に扱い、使用期間の長期化を図りながら廃棄物を減らし適切な管理を行う。また、ごみの分別を徹底し、ごみの削減を実施する。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	・エアコン使用時には、衣類の調整や採光により取り組み目標を遵守するよう努めた。 ・パソコンの電源をこまめに切り、短時間の離席でも画面を閉じるよう努めた。不必要な照明は切り、休憩時間等も節電に対して積極的に努めるとともに、採光を取り入れ、エネルギー使用量の削減を図った。
	具体的内容	・室温の目安として、夏季の冷房時 25－28度、冬季の暖房時18－20℃と設定し電気の節約を図る。・使用していない照明やパソコンの電源をこまめに切るよう職員へ周知する。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	不必要な印刷を控え、電子上での情報共有を行った。印刷する必要がある場合は、1枚あたりのページ数を増やし両面印刷して、使用枚数の削減を図った。
	具体的内容	紙で提供する必要のない情報や資料等は電子化して共有し、業務効率向上及び環境保全への貢献に努める。	

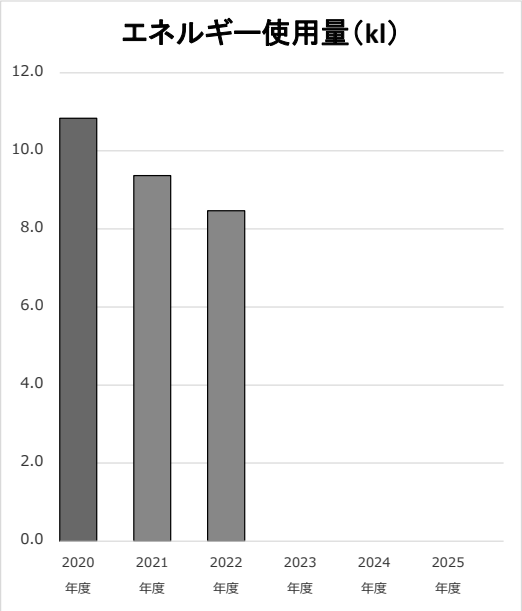
【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比　　-9.6 %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	職員研修を実施ししたことにより、各自がエネルギー使用量の削減に対する意識を持ち、節電に努めたため。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	420.0	363.0	328.2			
エネルギー使用量（kl）	10.8	9.4	8.5	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	—	-13.6%	-9.6%	-100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	鶴嶺出張所	計画	空調フィルターの清掃を1回/月実施する。
		実績	空調フィルターの清掃を1回/月実施した。
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月18日、19日、20日、21日に実施（対象20名中20名参加） C-EMSの概要と当該年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課かいにおける取組目標及び具体的な取組内容を周知した。
法令遵守確認研修	■ 実施	6月18日、19日、20日、21日に実施（対象20名中20名参加） 対象となる法令について、内容等を確認した。
新任・異動者研修	■ 実施	10月4日、5日に実施（対象3名中3名参加） C-EMSの概要と課かいにおける取組目標及び具体的な取組内容を周知した。
	（選択してください）	

（3）指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
■ 関係する指定管理者・委託業者はない □ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和　5年　3月　6日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
掲げた目標について、職員一人一人が意識をもって取り組んでおり、、概ね達成できている。 季節によってエネルギー使用量、資源の利用量及廃棄物量は変わるが、状況に対応した環境活動を工夫して実施していた。また、感染症の状況下で分散して生活することが求められているが、職員一人一人がエネルギー使用量の削減についての意識を持ち取り組みを実施していた。なお、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律に基づき業務用エアコン4台を四半期に1度、目視による簡易点検を実施し記録を残した。	C－EMSの活動をとおして職員への意識付けを常日頃実施し、継続して環境問題の重要性を全員で考えていくこと。また、研修を実施して知識及び意識を向上させ、職員の更なる理解を求めるように取り組みを強化する。